

子供の学習費調査 復元推計方法について

本調査では、ウェイト値の補正を行ったうえで推計値を算出している。

ウェイト値は調査対象学校別（高等学校の場合は学科の要素を加味）、学年・性別に理論的に設定し、さらに、それを調査対象者に当てはめた総和が、在籍者数（母集団）に一致するような補正を施して算出している。

公立小学校を例にとると、理論的なウェイト値として

$$\frac{\text{調査対象学校が属する都道府県・人口規模の全学校数}}{\text{調査対象学校が属する都道府県・人口規模の調査対象学校数}} \cdot \frac{\text{調査対象学校の学年・性別の在籍者数}}{\text{調査対象学校の学年・性別の調査対象者数}}$$

を設定し、それによってウェイトバックした地域ブロック別の人数、人口規模別の人数、学年・性別の人数のそれぞれが、在籍者数（母集団）と一致するように補正してウェイト値を算出している。

なお、本資料は令和３年度以降の調査に基づく内容である。